

第3学年*組 学級活動(3) 指導案

指導者 大関 拓也

R2研修センター長期研修

1 題材 「将来設計をしよう」

学級活動(3) ウ 主体的な進路の選択と将来設計

2 本題材で育成を目指す資質・能力

- (1) 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義や、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能が身に付いている。
- (2) 現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献することについて、自己の将来について、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができる。
- (3) 将来の生き方を描き、現在の生活や学習のあり方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身につけている。	自分らしい生き方の実現に向けて、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだすことができる。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	将来の生き方を見通したり、これまでの生活や学習を振り返ったりしようとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己表現を図ろうとしている。

4 題材について

(1) 生徒の実態

本校の第3学年*組の生徒は、キャリア教育について総合的な学習の時間に1年生では職業調べ、2年生では職場体験学習実施、3年生では高等学校説明会等を行ってきた。学級活動(3)においても職場体験学習発表や地域に学ぶ学習等を実施してきた。また、事前のアンケート調査では、将来の夢をもっている生徒も多く、自分の行動には責任を取ることができる生徒が67%おり、夢をもち、自分から行動できる生徒が多い学年である。その一方で、「10年後の自分を想像できるか」の質問には73%の生徒がやや想像できない、想像できないを選択していた。また、キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力のうち、キャリア教育アンケート調査の結果から、「キャリア・プランニング能力」が4段階評価で、平均2.7と低い結果になり、課題があると考えられる。

(2) 題材設定の理由

今回、生徒の実態を受けて、自分の将来像を設計することで、これからの自分や今の自分が取り組むべきことを意思決定することにより、学習や生活への意欲につなげたい。これらの活動を行う中で、生徒一人一人が自己の在り方や生き方を考え設計する力が育成されると考え、本題材を設定した。

また、この題材の際には、各教科の振り返りや「キャリア・パスポート」、職業調べのワークシート、総合的な学習の時間に行った自己分析シート等を活用し、将来設計から短期目標を考え、友達、教師、保護者との対話を通して、自己実現への意欲を育て、新たな目標への意思決定をする。また、朝の会等でいつでも振り返りを行えるようにし、短期目標や将来設計を描き直せるようにする。そして、この時に使用するワークシートを「キャリア・パスポート」として、今後も活用する。一人一人取り組む内容が違っても、ともに「なりたい自分」を目標にして努力する仲間として、励まし合って実践を積み重ねていくことを期待したい。

5 指導と評価計画【 学級活動(3)ウ 主体的な進路の選択と将来設計 】

時間	ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
学級活動	<p>「高等学校説明会で学ぼう。」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の先生方の話を聞き、自分の進路の選択に生かす。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各高等学校の先生方の話を聞き、各高等学校の様子等をまとめるとともに、この経験を自分の進路選択に生かし、「キャリア・パスポート」にまとめる。 	高等学校に対して、自分の興味や適正を理解している。	高等学校の先生の説明を取捨選択しながら、まとめている。	高等学校の先生の説明を参考にし、これからの学校生活に生かそうとしている。
朝の会	<p>「将来についての考えてみよう。」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来についてのアンケートを通して、自分の考えを知る。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来についての不安や希望等をアンケート調査し、将来像について考えてくるように知らせる。 		将来についての自己の考えを表現している。	将来設計をする授業に向けて、考えを深めようとしている。
本時	<p>「将来設計をしよう。」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来像を設計することで、これからの自分や今の自 		自分の将来像を設計し、25歳から現在に至るまでの長期目標と	自分の将来像を設計し、25歳から現在に至るまでの長期目標と

	<p>分が取り組むべきことを意思決定し,学習や生活への意欲につなげる。</p> <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来像になるために今から何ができるかを考え,人生設計をし,「キャリア・パスポート」にまとめる。 		<p>短期目標を表現している。</p>	<p>短期目標を学習や生活と関連付けようとしている。</p>
朝の会	<p>「将来設計の振り返りをしよう。」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来設計を立て,目標が達成できたかを振り替り,修正し,新しい目標を設定する。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来設計をした「キャリア・パスポート」に反省を書き,将来までの見通しを修正し,新しい目標を記入する。 		<p>短期目標を振り返り,目標を修正している。</p>	<p>短期目標を振り返ることにより,計画を修正し,これからの見通しをもとうとしている。</p>
学級活動	<p>「キャリア講演会に参加しよう。」</p> <p>○ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの進路に向けて,塾の講師から学習法や自己実現の大切さを学び,受験への意欲を高めるとともに,キャリア教育の充実を図る。 <p>○活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塾の講師から受験の現状やこれからの学習法を学び,「キャリア・パスポート」にまとめる。 	<p>進学に対して,自分の方向性を理解している。</p>	<p>塾の先生の説明内容を取捨選択しながら,まとめている。</p>	<p>塾の先生の説明を参考にし,これからのキャリア形成に生かそうとしている。</p>

6 本時の展開

	生徒の活動	○目指す生徒の姿 指導上の留意点
導入	(全体) 課題把握をしよう。 アンケート調査結果から「将来への不安がある。」「将来像が見通せない。」という実態を把握する。	※アンケート結果を板書する。 ※今回は、仕事に対する将来設計を行うことを伝える。
展開	(個人で) ▶「キャリア・パスポート」「自己分析シート」「職業調べワークシート」「職業インタビュー集」を基に、25歳の将来像を設計する。 ▶設計した将来像に到達するために、16歳～18歳までの目標の計画を立てる。 (グループでの話し合い活動により) ▶自分の将来像を発表する。 ▶グループ内で、内容のよかった点や改善点、参考になった点を交流する。 (交流1 16歳～18歳のときがんばるとよいこと。) (交流2 今の学習と将来との結びつきを考える。) ▶交流した後、付箋に感想やアドバイス等を書き、グループ内の生徒に渡す。 (全体で) ▶将来像を発表したり、交流した内容を伝えたりする。	○自分の将来像を設計し、25歳から現在に至るまでの長期目標と短期目標を表現している。 ※書くことが難しい生徒には、職業インタビュー集等を参考に、アドバイスをを行う。 ※コロナ対策で、数グループ別室に移動する。 ※全て書くことができていなくても、話し合いのあとに書くことができることを伝える。 【思考・判断・表現】 ＜「キャリア・パスポート」STEP 1, 2 観察＞ ※「キャリア・パスポート」STEP 1, 2を基に話し合う。 ※T1, T2は、話し合いを見守りながら机間指導においてグループごとに将来設計についてのアドバイスをを行う。 ※話し合い活動の視点シートを基に話し合いを進める。 ※「キャリア・パスポート」STEP 2にメモを取る。 ※「キャリア・パスポート」STEP 2に付箋を貼る。
	(個人で) ▶いままでの活動を参考に、将来像に向けてこれから取り組むべきことを意思決定し、将来像や受験までの目標を修正し、記録する。 (グループで) ▶意思決定したワークシートをグループで回し読みする。	○自分の将来像を設計し、25歳から現在に至るまでの長期目標と短期目標を学習や生活と関連付けようとしている。 【主体的な態度】 ＜「キャリア・パスポート」STEP 1～4, 観察＞
終末	▶学校生活と将来設計のつながりをもう一度確認して振り返り、今後の振り返りの予定を確認する。	※振り返りを記入し、数名の発表を行い、多面的・多角的な見方を広げる。